

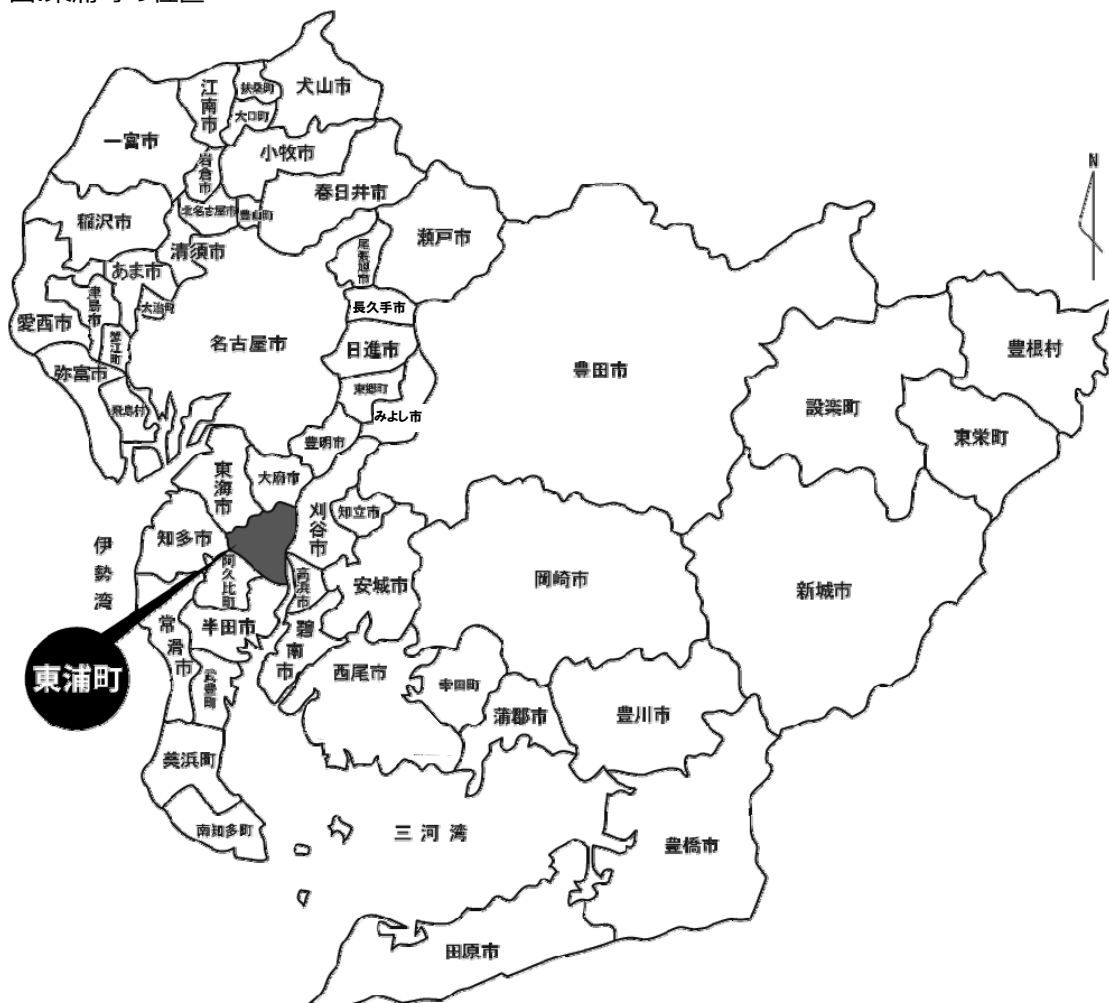
第2章 東浦町の環境特性

1 町の概要

(1) 位置・面積

- ・本町は愛知県の知多半島北東部、衣浦湾の最奥部に位置し、南に半田市、西に東海市、知多市、阿久比町、北は犬山市に接しています。

図.東浦町の位置



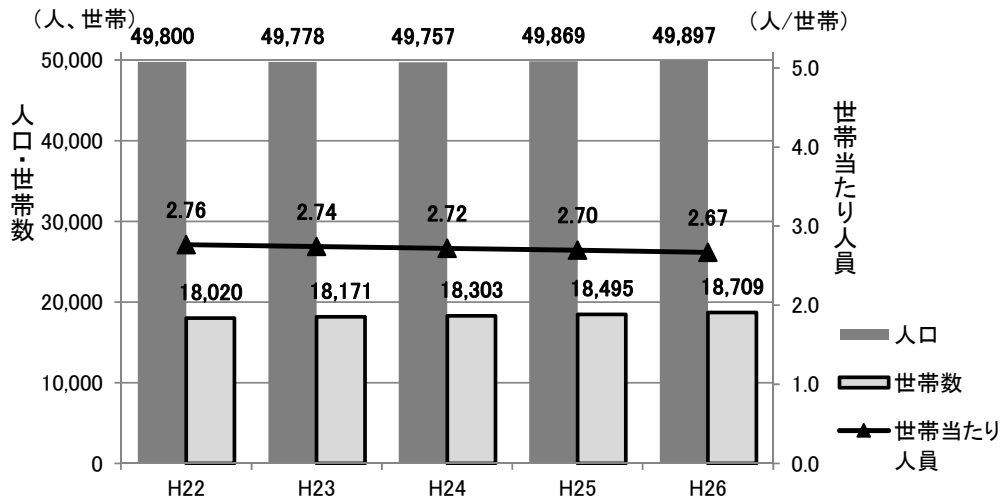
東 西	6.2 km
南 北	7.7 km
面 積	<u>31.14 km²</u>

(2) 人口・世帯

・国勢調査に基づく推計人口では、平成 26 年 10 月 1 日現在の本町の人口は 49,897 人、世帯数は 18,709 世帯、平均世帯当たり人員は 2.67 人/世帯となっています。

・この 5 年間の人口はほぼ横ばい状態になっています。世帯数は最近でも増加傾向、世帯当たり人員は減少傾向が続いています。

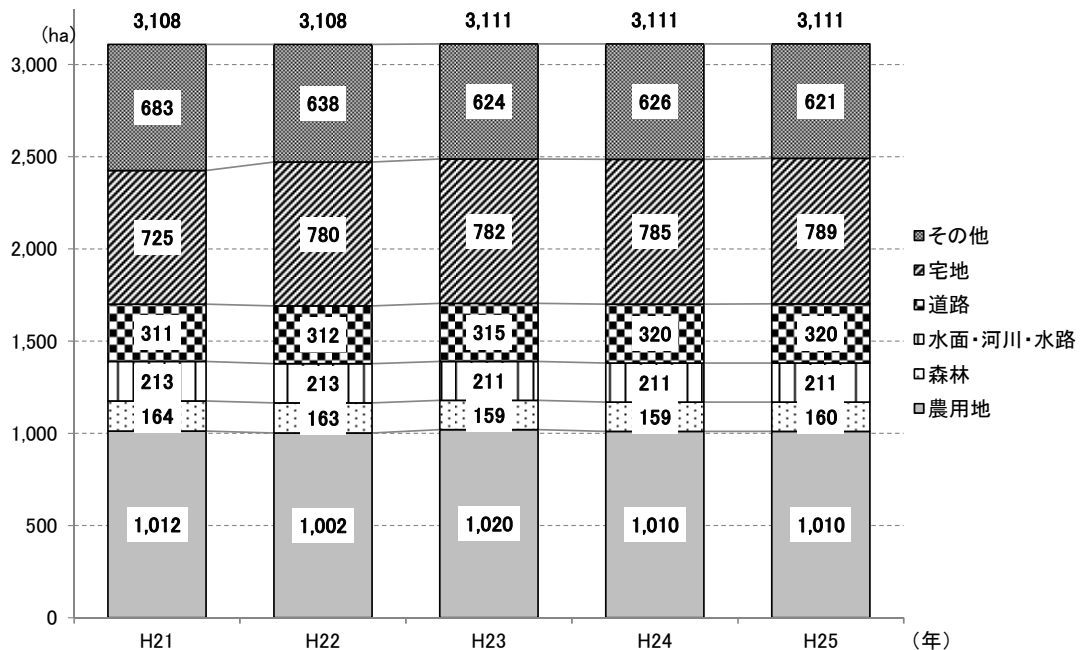
図. 東浦町の人口、世帯数（資料：国勢調査、推計人口、各年 10 月 1 日）



(3) 土地利用

・本町の土地利用の状況は、都市的土地利用である宅地が 789ha(25.4%)、次いで道路が 320ha(10.3%)となっており、これらは最近では増加傾向にあります。一方で、自然的土地利用である農用地が 1,010ha(32.4%)、森林が 160ha(5.1%)、水面・河川・水路が 211ha(6.8%)となっており、これらは減少傾向にあります。

図. 東浦町の地目別土地利用面積（資料：土地に関する統計年鑑（愛知県））



(4) 気温、降水量

- ・平成 21 年以降の気温の動向は、最高気温は 35～38℃台、最低気温は-4～-2℃台となっています。年間日照時間は 1,900～2,400 時間台となっています。
- ・降水量の動向は、年間合計は 1,400～1,600mm 台、1 日最大は 70～160mm 台、時間最大は 20～80mm 台となっており、年間合計は減少傾向にありますが、1 日または 1 時間当たり雨量が多く記録される年もあります。

図. 年間最高気温、最低気温、日照時間（資料：気象庁アメダス観測データ）

※H24.10.17 までは東海市、H24.10.18 以降は大府市に観測所が移転

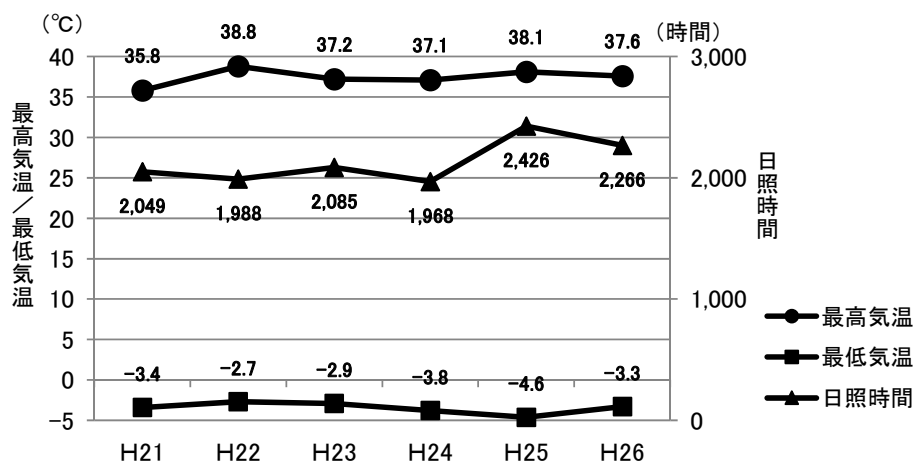
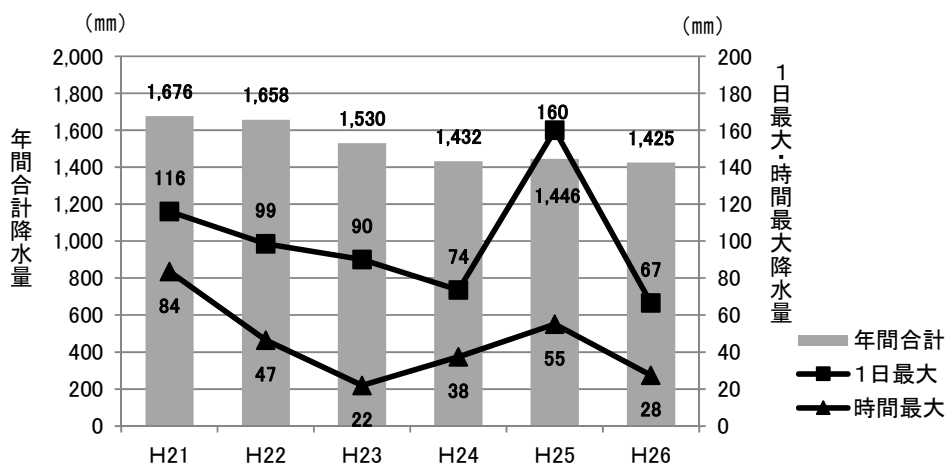


図. 年間合計、1 日最大、時間最大降水量（資料：気象庁アメダス観測データ）

※H24.10.17 までは東海市、H24.10.18 以降は大府市に観測所が移転



2 公園・緑地

- ・本町の緑においては、公園や施設の緑化等、市街地内の緑も生物の生息環境や安らぎを与える効果に重要な役割を担っています。
- ・本町においては 56 か所、約 38ha の都市公園が設置されており、於大公園といった大規模公園も整備されています。
- ・高根の森、自然環境学習の森等の樹林地を緑地として積極的に保全し、住民に利用されています。

表. 公園・緑地の整備状況（資料：都市整備課（平成 27 年 4 月））

（単位：ha）

種 別			名 称	面 積
都市公園	住区基幹公園*	街区	高根中央公園	0.85
			高根南公園	0.74
			卯ノ花公園	0.19
			高根北公園	0.34
			高根児童公園	0.10
			高根山公園	0.31
			高根口公園	0.33
			高根東公園	0.12
			浜田公園	0.10
			石田公園	0.15
			といまや公園	0.27
			上之山公園	0.16
			森岡新池公園	0.13
			片葩の里公園	0.37
			森岡中町公園	0.21
			かみね北公園	0.22
			かみね南公園	0.20
			なかね公園	0.13
			石浜駅前公園	0.07
			緒川駅東2号公園	0.12
			三ツ池公園	0.11
			相生の丘北公園	0.10
			相生の丘南公園	0.13
			大池南公園	0.11
			東浦葵ノ荘公園	0.16
			白山公園	0.15
			吹付西公園	0.32
			吹付東公園	0.13
			藤塚公園	0.17
			厄松池公園	0.12
			南ヶ丘中公園	0.38
			あさひ公園	0.66
			濁池西公園	0.28
		近隣	森岡自然公園	1.06
		地区	※三丁公園	1.90
	都市基幹公園		於大公園	12.08
	総合			
	広域公園		○健康の森公園 （全体面積 51.5）	14.06

種 別		名 称	面 積	
都市公園	都市緑地	みどり緑地	0.23	
		祖母懷北公園	0.06	
	広場	下今池公園	0.05	
		濁池北公園	0.05	
		森岡前田公園	0.07	
		古城公園	0.07	
		札木公園	0.05	
		西本坪公園	0.05	
		黒鳥公園	0.05	
		三本松公園	0.06	
		西平地公園	0.09	
		平池台西公園	0.09	
		平池台東公園	0.07	
		平林公園	0.10	
		門田公園	0.03	
		生路前田南公園	0.05	
		荒子南公園	0.09	
		南ヶ丘北公園	0.08	
		南ヶ丘南公園	0.10	
		小 計		38.47
		ふれあい広場		24 か所
主な緑地	高根の森	5.2		
	自然環境学習の森	17.0		
	○東浦みどり浜緑地	2.3		
	飛山池周辺	7.3		
小 計		31.8		
合 計		71.55		

○：県有施設 ※：整備中

○：県有施設 ※：整備中

3 文化財

- ・本町には、国指定の入海貝塚の他、県指定 7 件、町指定 27 件、合計 35 件の指定文化財があります。
- ・天然記念物の樹木その他、史跡や建造物の文化財については、緑豊かな良好な環境の場所に位置しているものが多く、周辺環境を含めた保全が必要といえます。

表. 文化財の指定状況（資料：生涯学習課（平成 26 年 3 月））

<国指定文化財>

種 別	名 称	所在・所有
史跡	入海貝塚	入海神社境内

<県指定文化財>

種 別	名 称	所在・所有
絵画	絹本著色弁財天像	乾坤院
絵画	絹本著色諸尊集会図	乾坤院
書跡	紙本墨書正法眼蔵写本	乾坤院
書跡	異国降伏祈願施行状	善導寺
無形民俗	東浦五ヶ村虫供養行事	森岡、緒川、石浜、生路、藤江各地区で輪番
無形民俗	藤江のだんつく獅子舞	藤江神社八ツ頭舞楽保存会
建造物	大樹寺旧裏一の門	個人

<町指定文化財>

種 別	名 称	所在・所有
建造物	乾坤院山門	乾坤院
建造物	堅雄堂	乾坤院
建造物	乾坤院総門	乾坤院
絵画	阿弥陀如来図	町内五地区（旧五ヶ村）
絵画	阿弥陀如来画像	極楽寺
彫刻	水野忠政・忠善座像	乾坤院
彫刻	薬師如来立像	安徳寺
彫刻	だんつく古面	藤江神社
工芸	正宗短刀	入海神社
工芸	長船長刀	入海神社
工芸	切支丹灯籠	越境寺
工芸	常夜灯	藤江字須賀地内
工芸	藤江神社八ツ頭舞楽龍頭の面	藤江神社
古文書	緒川村慶長検地帳	緒川区
古文書	明徳寺川水論文書	石浜区
古文書	生路村方文書	生路区
考古	金鷄山古墳出土品	東浦町郷土資料館
有形民俗	村木神社おまんと祭りの馬道具	村木神社
無形民俗	伊久智神社神楽	伊久智神社神楽保存会
無形民俗	森岡の村木神社おまんと祭り	村木神社おまんと祭り保存会
史跡	緒川城址	緒川字古城地内
史跡	村木砦古戦場	森岡字取手地内
史跡	水野家四代の墓所	乾坤院
史跡	緒川城主三代の墓所	緒川字蛭藻池地内
天然記念物	極楽寺の楠	極楽寺
天然記念物	伊久智神社大楠の森	伊久智神社
天然記念物	地蔵院のイブキ	地蔵院（伝宗院）

4 公 害

(1) 大気の状態

- ・町内における二酸化硫黄 (SO_2)、浮遊粒子状物質 (SPM)、光化学オキシダント (O_x)、窒素酸化物 (NO_x) の測定値は、いずれも大きく悪化している状況は見られず、環境基準を下回っています。
- ※環境基準 (1 時間値の 1 日平均値)：二酸化硫黄 0.04ppm 以下、浮遊粒子状物質 0.10 mg/m^3 以下、光化学オキシダント 0.06ppm 以下、二酸化窒素 0.04~0.06ppm のゾーン内またはそれ以下
- ・微小粒子状物質 (PM2.5) については、本町付近では、大府市の大府小学校で常時測定しています。平成 26 年度の年平均値は 13.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ となっており、環境基準は達成しています。

図. 二酸化硫黄測定値の年平均値 (資料：東浦町の環境)

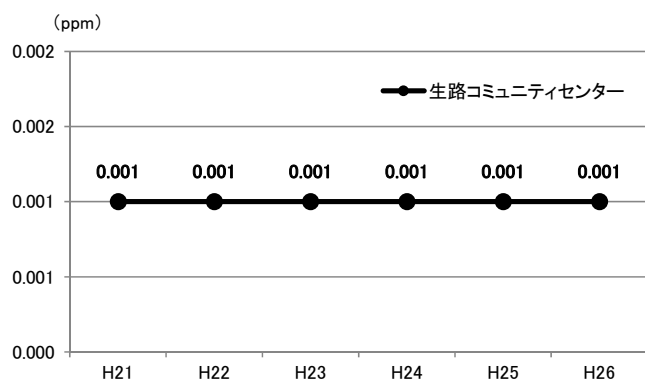


図. 浮遊粒子物質測定値の年平均値 (資料：東浦町の環境)

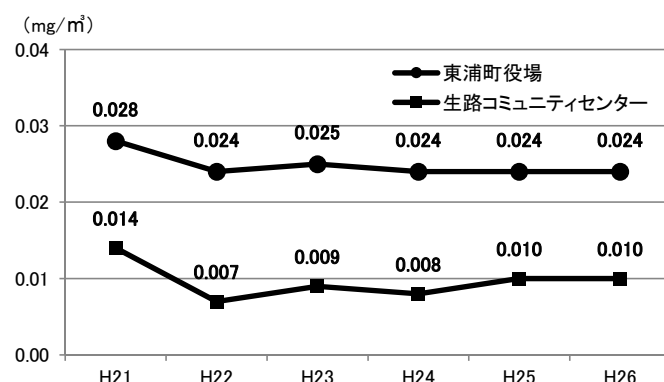
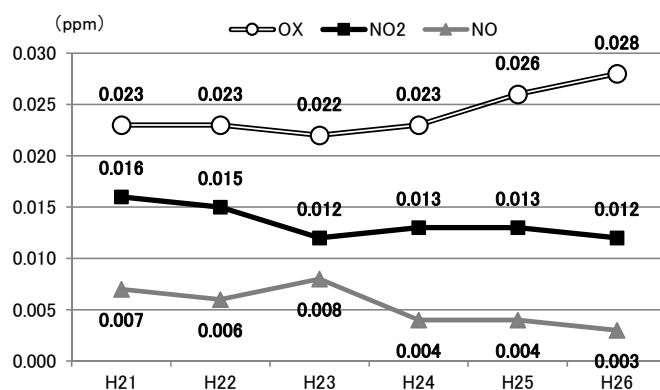


図. 光化学オキシダント、窒素酸化物測定値の年平均値
(光化学オキシダント (O_x)、二酸化窒素 (NO_2)、一酸化窒素 (NO))
(観測地点：東浦町役場) (資料：愛知県大気汚染調査結果報告書)



(5) 河川の水質の状況

・ 町内の河川においては、境川及び鎌池川から流入する阿久比川に環境基準が定められています。

※環境基準：生物化学的酸素要求量（BOD）5mg/ℓ 以下、浮遊物質（SS）50mg/ℓ 以下、
溶存酸素量（DO）5mg/ℓ 以下

・ 鎌池川では生物化学的酸素要求量及び溶存酸素量が環境基準を上回る状況が続いており、境川では溶存酸素量が環境基準を上回っています。

・ その他河川においても、溶存酸素量の測定値が高い傾向にあります。

図. 生物化学的酸素要求量（BOD）の測定値
（資料：東浦町の環境）※凡例は下のグラフと同じ

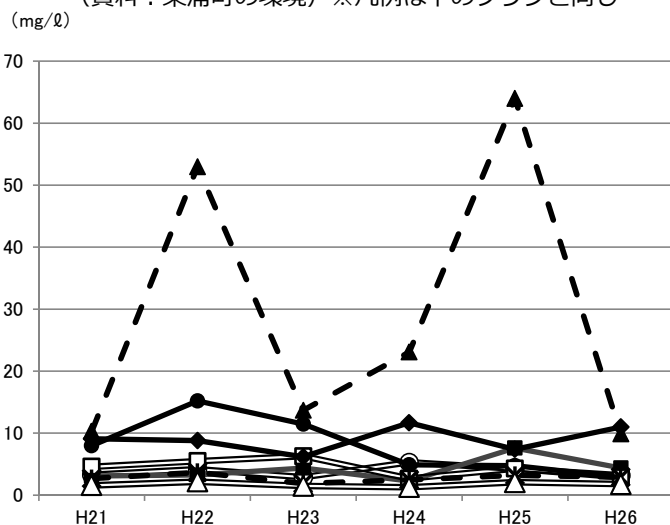


図. 浮遊物質（SS）の測定値
（資料：東浦町の環境）※凡例は下のグラフと同じ

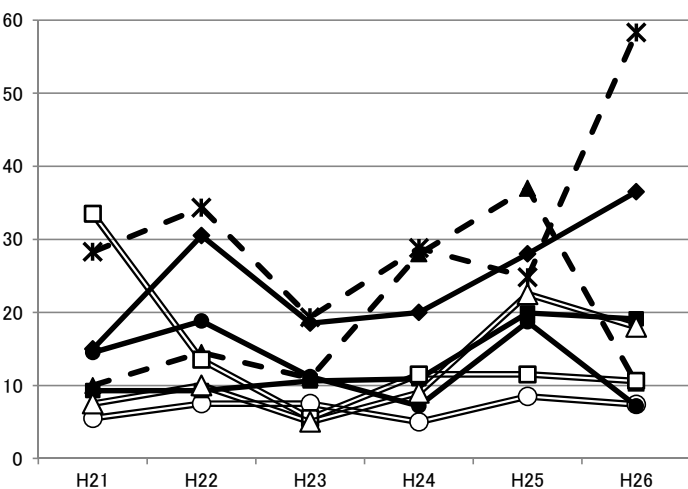
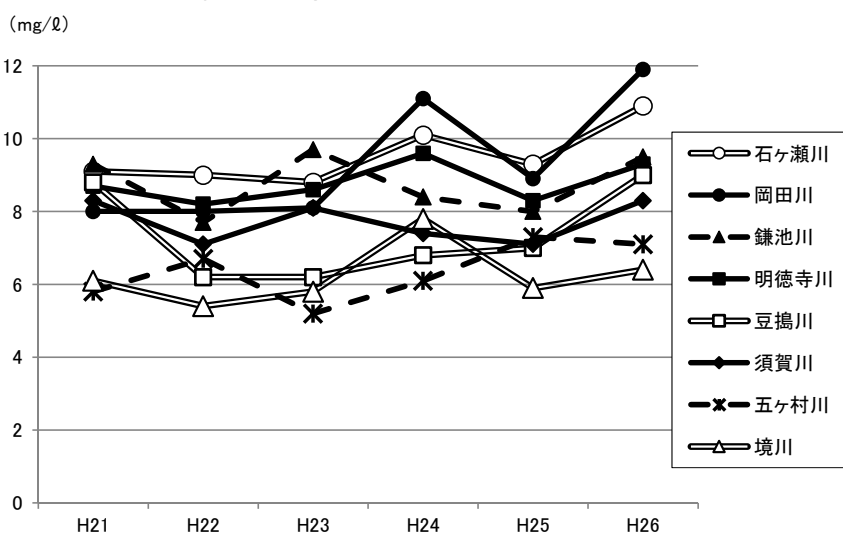


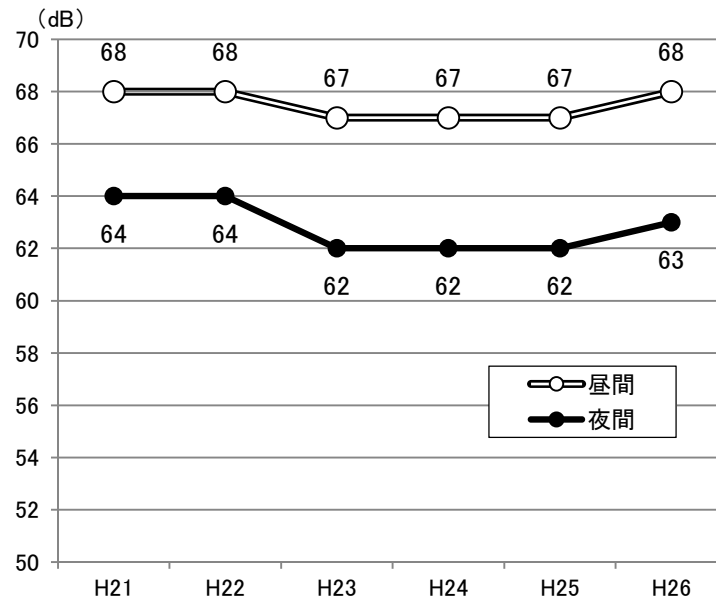
図. 溶存酸素量（DO）の測定値 （資料：東浦町の環境）



(6) 自動車騒音

- ・本町の主要な幹線道路である国道 366 号の道路騒音は、昼間は 67～68dB、夜間 62～64dB となっており、幹線道路の環境基準である昼間 70dB、夜間 65dB を下回っています。

図. 道路の自動車騒音の測定値 (観測地点：国道 366 号石浜字中央)
(資料：愛知県交通騒音・振動調査結果)



(7) 苦情の状況

- ・町役場への公害の苦情は、種類別では大気汚染に関する苦情の割合が多くなっています。その他については、雑草や不法投棄に関する苦情が多くなっています。
- ・地区別では、緒川新田に関する苦情の件数にやや増加傾向がみられます。

表. 公害苦情の延べ受付件数 (資料：東浦町の環境) (単位：件)

<種類別>

種類	年度	H22	H23	H24	H25	H26
典型7公害	大 気	36	25	30	24	29
	水 質	2	0	7	2	0
	土 壌	0	0	0	0	0
	騒 音	6	13	18	10	9
	振 動	0	0	2	1	0
	悪 臭	9	8	11	11	4
	地盤沈下	0	0	0	0	0
その他		107	127	131	117	132
計		160	173	199	165	174

<地区別>

地区	年度	H22	H23	H24	H25	H26
森 岡		22	33	37	24	30
緒 川		40	39	57	42	56
緒川新田		28	24	27	38	19
石 浜		23	31	28	30	30
生 路		23	17	20	14	17
藤 江		24	29	30	17	22
計		160	173	199	165	174

5 廃棄物

- ・本町が処理するごみ（一般廃棄物）の総排出量は、かつては人口増加の影響で増加していましたが、最近は減少傾向にあります。特に、住民 1 人当たりの排出量大きく減少しており、平成 26 年度は年間 236.4kg/人となっています。
- ・本町においては、地域の協力により家庭からの資源ごみ回収を行っています。資源ごみ回収の中心は紙・布ですが、その回収量は減少傾向にあります。住民 1 人当たり回収量（資源化率）は減少傾向にあり、平成 26 年度は年間 52.1kg/人となっています。

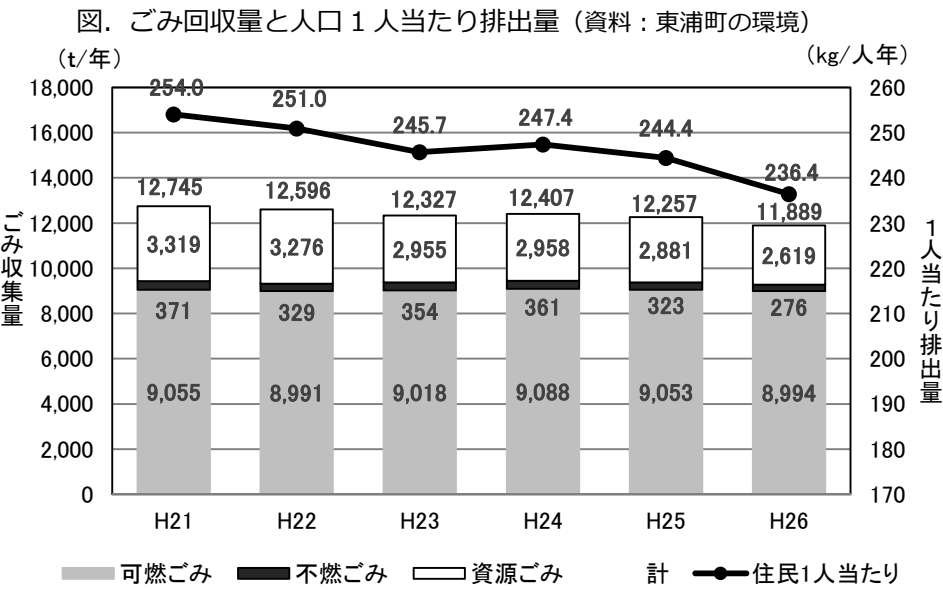
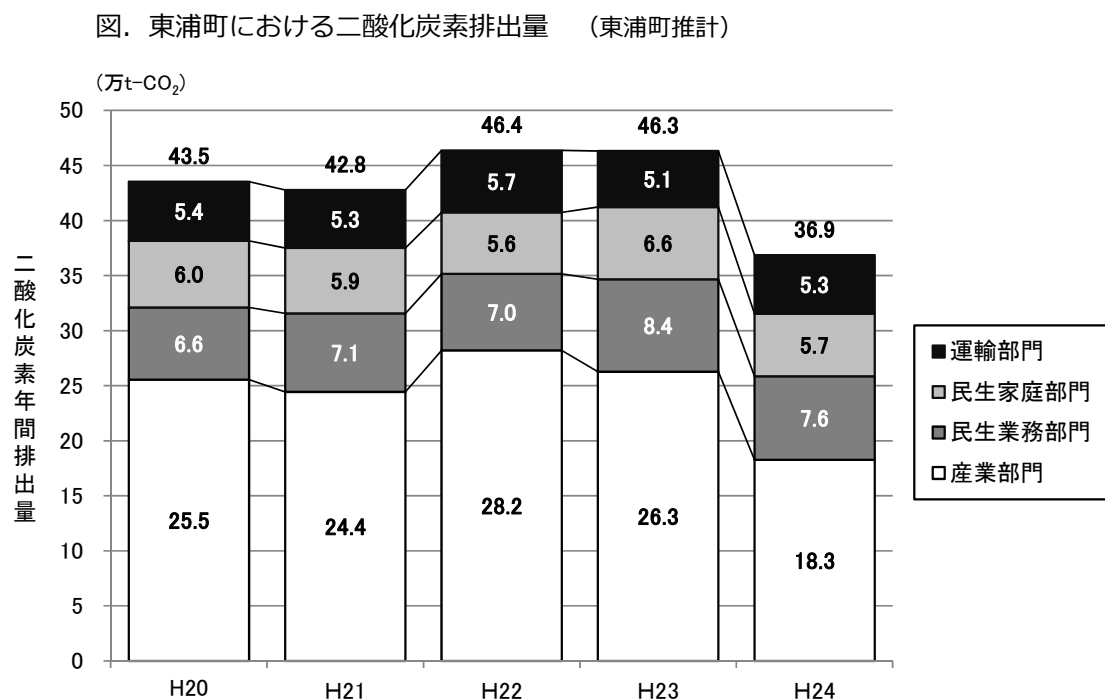


表. 種類別資源ごみ回収量 （単位：t/年 住民 1 人当たりは kg/人年）

種類	H21	H22	H23	H24	H25	H26
アルミ	73.1	73.6	76.6	77.7	76.1	74.1
スチール	91.7	87.5	90.1	89.7	85.5	80.1
びん	355.9	377.3	376.6	375.6	379.9	357.7
紙・布	2,298.6	2,226.2	1,913.6	1,917.3	1,836.8	1,606.5
プラスチック	479.7	490.8	476.8	475.3	477.7	462.9
乾電池	20.2	14.1	11.3	10.7	10.5	10.7
陶磁器	-	6.9	10.1	12.0	14.4	14.9
小型家電	-	-	-	-	-	11.9
合計	3,319.3	3,276.4	2,955.1	2,958.3	2,880.8	2,618.8
住民 1 人当たり	66.2	65.3	58.9	59.0	57.4	52.1

6 地球温暖化

- ・本町における最近の二酸化炭素の排出量は、概ね 40 万 t -CO₂ 前後を推移しています。平成 21 年度から 22 年度にかけて増加しましたが、その後減少しています。
 - ・平成 24 年度の排出量を部門別にみると、製造業・建設業・農業等の産業部門が 18.3 万 t -CO₂、全体の 50%を占めており、ついで商業・サービス業・公務等の民生業務部門が 7.6 万 t -CO₂、全体の 21%、家庭から排出される民生家庭部門が 5.7 万 t -CO₂、全体の 15%、自動車・鉄道の運輸部門が 5.3 万 t -CO₂、全体の 14%となっています。
 - ・なお、民生家庭部門の住民 1 人当たりの排出量は、平成 24 年度で 1.14 t -CO₂ となっています。
- ※t-CO₂ とは、二酸化炭素の量を重量で換算した単位



7 住民意識

「東浦町の環境を守る基本計画」中間見直しのための環境に関する住民アンケート調査より

- 調査時期：平成 26 年 11 月
- 調査方法：郵送による配布・回収
- 調査対象：18 歳以上の住民 1,300 人（住民基本台帳から無作為抽出）
- 有効回答数：498 人（回収率 38.3%）

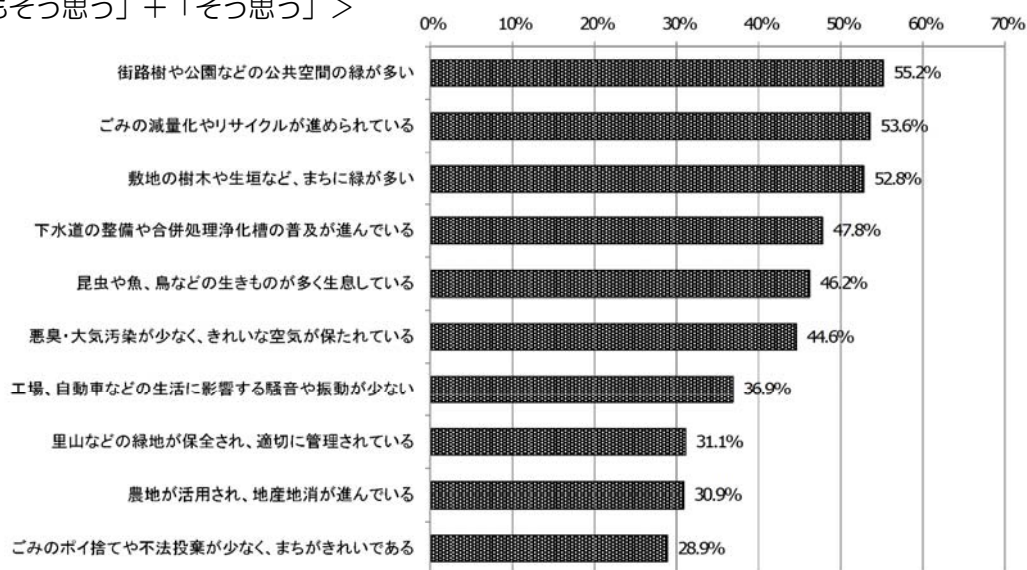
（1）本町の環境の現状認識

・『とてもそう思う』『ややそう思う』をあわせた割合は、「街路樹や公園などの公共施設が多い」が最も多く、次いで「ごみの減量化やリサイクルが進められている」「敷地の樹木や生垣など、まちに緑が多い」が多く、いずれも 50%を超えています。

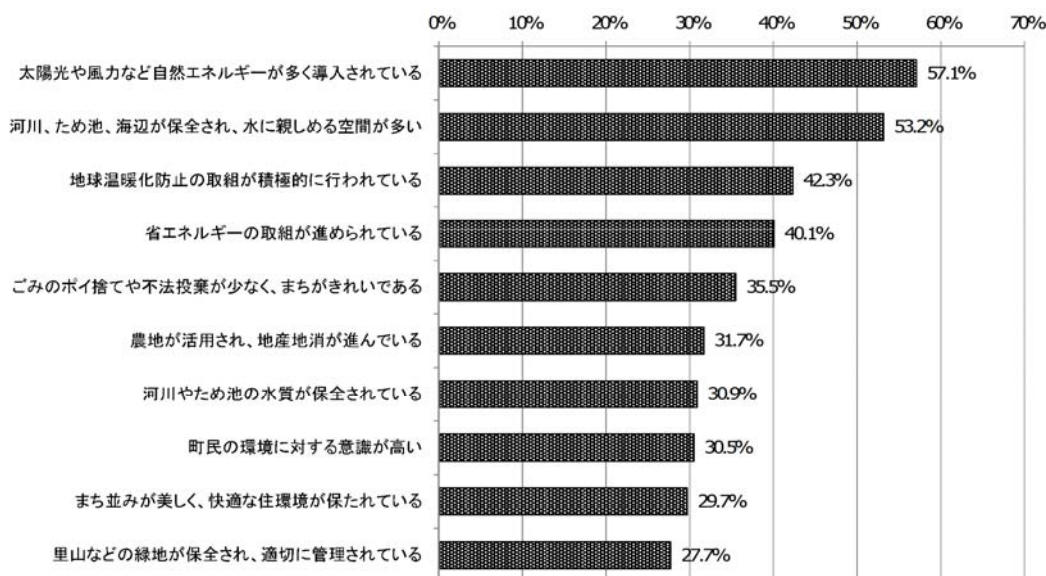
・『あまりそう思わない』『まったくそう思わない』をあわせた割合は、「太陽光や風力など自然エネルギーが多く導入されている」が最も多く、次いで「河川、ため池、海辺が保全され、水に親しめる空間が多い」が多く、いずれも 50%を超えています。

図．本町の環境の現状認識（数値は全回答者数に対する割合）

＜「とてもそう思う」＋「そう思う」＞



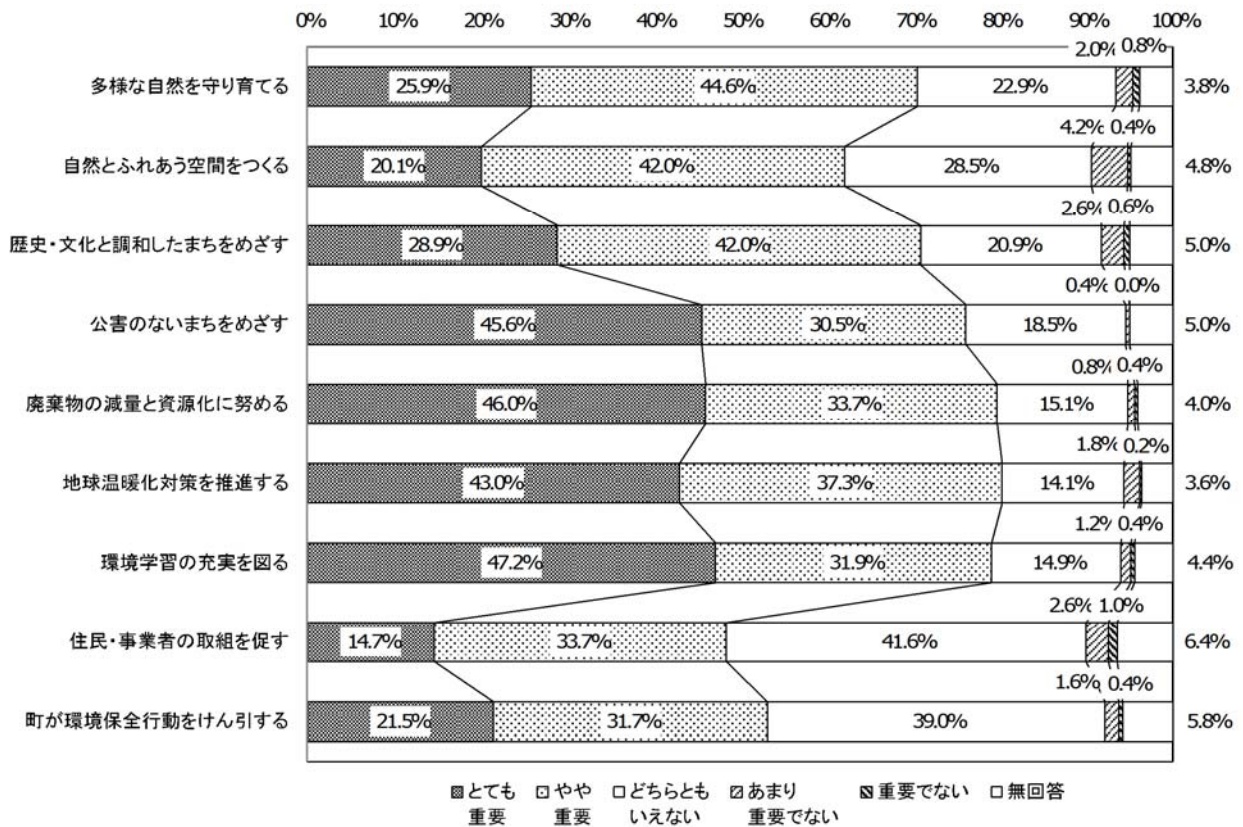
＜「あまりそう思わない」＋「まったくそう思わない」＞



(2) 環境に関する取組の重要度

- ・『とても重要』『やや重要』をあわせた割合は、「地球温暖化を防止する」「廃棄物の減量と資源化に努める」が最も多く、次いで「環境学習の充実を図る」「公害のないまちをめざす」「多様な自然を守り育てる」「歴史・文化と調和したまちをめざす」が多くなっています。
- ・『あまり重要ではない』『重要ではない』をあわせた割合は、「自然とふれあう空間をつくる」「住民・事業者の取組を促す」「多様な自然を守り育てる」「歴史・文化と調和したまちをめざす」が多くなっています。

図. 本町の環境に関する取組の重要性（数値は全回答者数に対する割合）

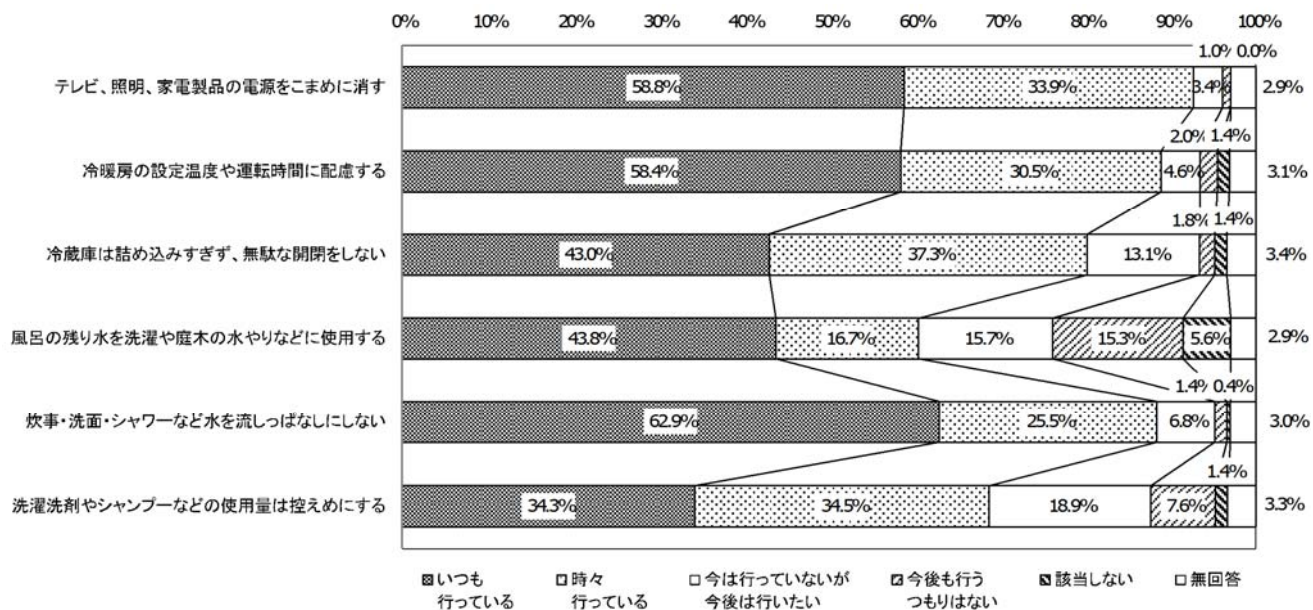


(3) 環境にやさしい行動の取組の実施状況

①節電・節水

・『いつも行っている』『時々行っている』をあわせた割合は、いずれの項目も 60%を超えています、特に「テレビ、照明、家電製品の電源をこまめに消す」が最も多く、次いで「冷暖房の設定温度や運転時間に配慮する」「炊事・洗面・シャワーなど水を流しっぱなしにしない」が多くなっています。

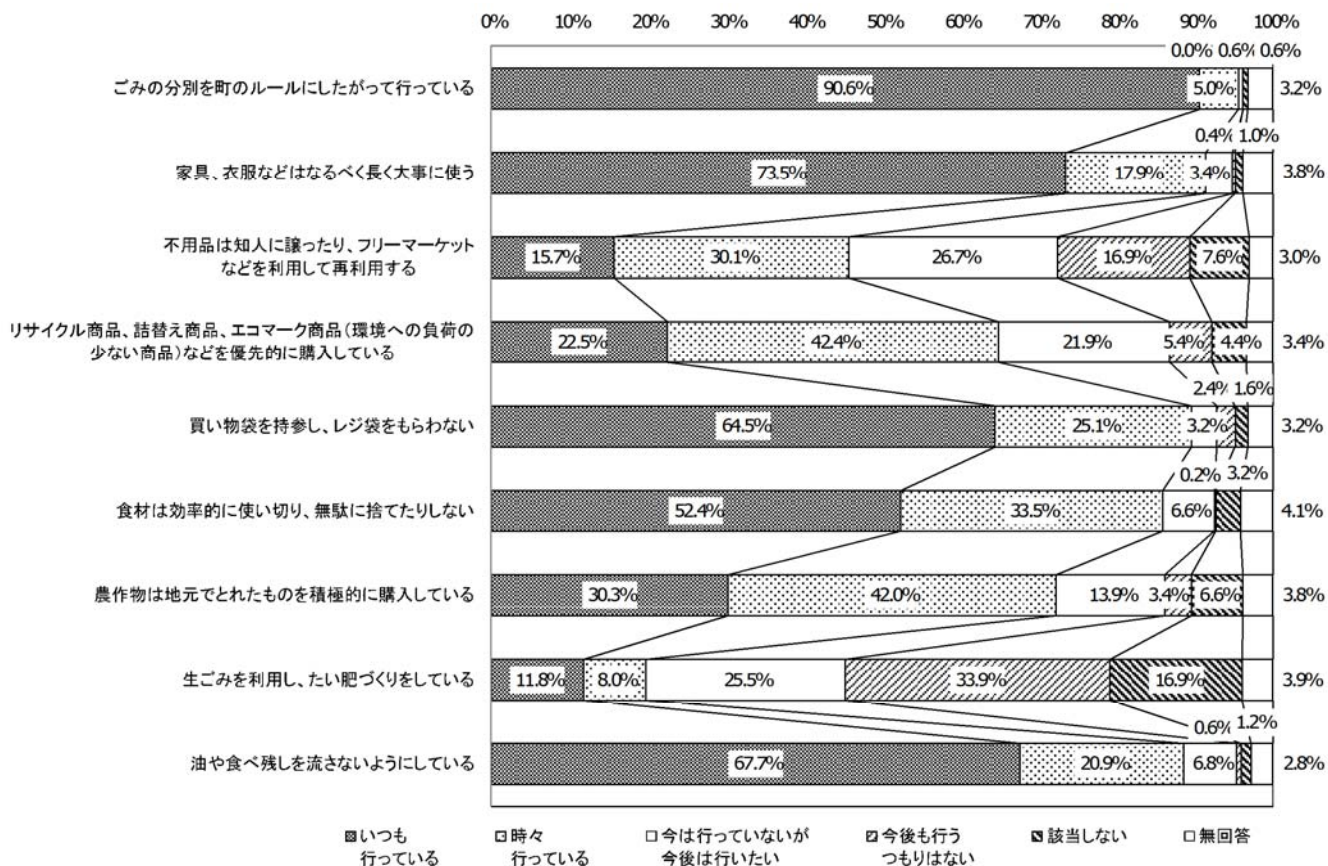
図. 節電・節水に関する日常生活での取組の実施状況（数値は全回答者数に対する割合）



②ごみの減量・資源化等

- ・『いつも行っている』『時々行っている』をあわせた割合は、「ごみの分別を町のルールに従って行っている」が最も多く、次いで「家具、衣服などはなるべく長く大事に使う」「油や食べ残しを流さないようにしている」が多くなっています。
- ・一方で、「生ごみを利用し、たい肥づくりをしている」「不用品は知人に譲ったり、フリーマーケットなどを利用して再利用する」「リサイクル商品、詰替え商品、エコマーク商品などを優先的に購入している」「農産物は地元でとれたものを積極的に購入している」は少なくなっています。

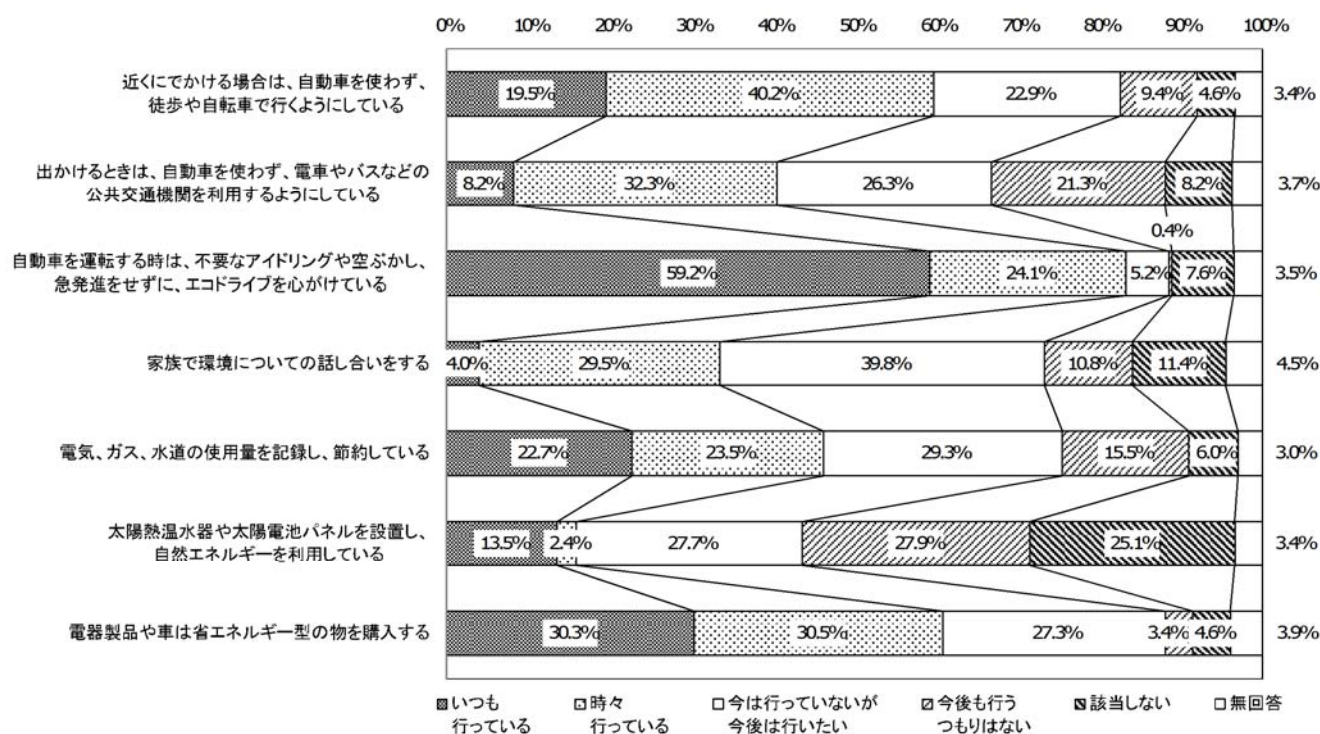
図. ごみの減量・資源化等に関する日常生活での取組の実施状況（数値は全回答者数に対する割合）



③自動車・環境行動等

- ・『いつも行っている』『時々行っている』をあわせた割合は、「自動車を運転するときは、不要なアイドリングや空ふかし、急発進をせずに、エコドライブを心がけている」が最も多く、次いで「近くに出かける場合は、自動車を使わず、徒歩や自転車で行くようにしている」「電気製品や車は省エネルギー型の物を購入する」が多くなっています。
- ・一方で、「太陽熱温水器や太陽電池パネルを設置し、自然エネルギーを利用している」は少なくなっています。

図. 自動車・環境行動等に関する日常生活での取組の実施状況（数値は全回答者数に対する割合）



④自然・緑

- ・『いつも行っている』『時々行っている』をあわせた割合は、いずれの項目も概ね 70%と高くなっています。

図. 自然・緑に関する日常生活での取組の実施状況（数値は全回答者数に対する割合）

